

平成30年 第7回 (定例会)

厚真町教育委員会会議録

1 開会

平成30年5月31日 (木) 午後2時30分

2 閉会

平成30年5月31日 (木) 午後4時36分

3 出席委員の氏名

遠藤 秀明 佐藤 泰夫 伴 俊行 金光 えり 長門 茂明

4 委員及び傍聴人以外の会議出席者氏名

生涯学習課長 伊藤 文彦 生涯学習課参事 木戸 達也

【書記】学校教育G主査 田中 紀嘉

5 会議録署名委員の指名

(佐藤 泰夫)

(金光 えり)

6 教育長報告

(1) 行事参加等の動向 (資料1)

(2) 条例又は規則に定める委員の委嘱 (資料2)

【質疑なし】

7 所管報告

学校教育グループ

(1) 平成30年度中学生海外派遣研修事業応募者 (5月1日締切) について
応募者数15人 (内訳/男子6人、女子9人。厚真中8人、厚南中7人。
3年生12人、2年生3人) (資料3)

(2) 英語教育推進委員会 (5月8日開催) について (資料4)

(3) 厚真町小中一貫教育推進委員会 (5月10日開催) について (資料5)

(4) 厚真町小中一貫教育推進委員会 (5月15日開催) について (資料6)

(5) 平成30年度中学生海外派遣研修事業応募者面接 (5月15日開催) について

(6) 厚真町いじめ問題対策連絡協議会 (5月22日開催) について (資料7)

(7) 厚真町通学路安全推進会議（5月29日開催）について (資料8)

(8) 5月の校長会・教頭会について (資料9)

社会教育グループ

(1) 野球教室開始（5月13日より週末開催）

上厚真運動広場にて厚南中生徒7名参加

(2) 戦争遺跡ツアー（5月20日開催）参加者18人（うち町外5人）

鹿沼、豊丘、苫小牧市のトーチカなど戦争遺跡7か所

(3) 「親子でくつろぎ森ガール」開催（5月25日開催）

参加者10組（町内の母子）雨天のため厚南児童会館でヨガを実施

【質疑】

遠藤教育長：学校教育グループと社会教育グループから報告がありました。所管報告の質疑をお願いします。

佐藤職務代理：海外派遣の子どもたちの申請の件だが、全員で15名の申込みだったが、学校と調整をしたのか。

木戸参事：調整してはいない。たまたま申請が15名であった。

伴委員：野球教室の件だが、2回とも厚南中の生徒だけだった。厚中の生徒も参加しているのか。

伊藤課長：参加できる。厚中にも開催案内をしている。パンフレットを全校に配布している。たまたま参加者は、厚南中の生徒だけだった。日曜日の開催なので部活等があれば参加がむずかしいのではないか。

伴委員：将来的に考えて、学校に野球部がなければ中体連に参加できないのではないか。やり方の話だが、例えば私のチームは学校に窓口を作ってもらっている。野球教室などの活動だけで中体連に参加できるのか。

伊藤課長：部活動がないと無理である。

伴委員：せっかくやっつけていくなら単なる練習で終わるのではなく、後につながっていくものにするべきではないか。

伊藤課長：どこかでクラブチームに特化するのか。または野球部を復活させるのか。学校の意向もある。

伴委員：学校側も大変なので、野球部復活はむずかしいのでは。他に指導者がいるなら校外部というやり方もある。何かいい方向性を考えていければ。

遠藤教育長：できれば中体連に参加できる道があればいいのだが。子どもたちが中学校生活を送る中でスポーツに打ち込める場面は大切。中体連の事務局の方の話だそうだが、9～10人集まれば単独で参加するのは問題ないが、町内で3～4人を合併させるのは認められないらしいということを目にした。ということは、9人以上が必要であり、尚且つ校外部として参加しなければならないかと思う。まだ、クラブチームとして進めていく

かも今は手探りである。そのため、まずは野球教室としてスタートしている。

伴委員 : 本来的には教育委員会が主導ではなく、保護者が自発的に立ち上げるべき。母体となる組織を作った上で行政に支援を求めるのが普通である。その辺を含めて、クラブチームについては議論していく必要がある。

伊藤課長 : 行政としてはいつまでも手をかけていくわけにはいかない。今はあくまでもきっかけを提供している。最初のとっかかりとして野球教室を開催している。どの段階で誰に委ねるかは考えていかなくてはならない。

伴委員 : そうしなければ長続きはしないと思う。自分たちが積極的に動いていくという姿勢が必要である。

遠藤教育長 : これまでの経緯として、保護者は子どもたちのスポーツの場面として野球部の復活ありきで話を進めていたが、最終的に埒があかなくなり行政に相談にきたということである。

伴委員 : 野球部を復活してやっていくのはおそらくむずかしい。どうしてもやりたいというのであればクラブチームとしてやっていくしかないのではないかと。

金光委員 : 今回野球教室に参加した子どもたちは中学校では別の種目に入っているのか。中学校としては部活に所属した方がいいという指導をしているのか。例えば野球がないから何も入らないでクラブチームの活動に充てることを学校として認めるのか。

伊藤課長 : 学校側が現状としてどう考えているのかはわからない。

伴委員 : 一昔前は、全員部活に所属することが義務付けられていた。

長門委員 : 学校側はクラブチームがあるという前提でまだ考えてはいないと思う。まだ実際にチームができていないので、これからの判断ではないかと。

伊藤課長 : 今は野球教室においても部活を優先しなさいということである。そういうスタンスである。

伴委員 : 今後その辺の兼ね合いをどうするのか。現在、私のチームは中学生は部活に所属していない。

伊藤課長 : 生徒の中には町外のクラブチームに所属している子もいる。

金光委員 : 校外部についてはサッカーや剣道の子たちもいる。

遠藤教育長 : いずれにしても最終的に保護者と生徒が納得しなければならない。今後じっくり検討していく必要がある。

遠藤教育長 : 森ガールだが小さなお子さんがいる親子が、豊沢・新町の環境保全林を1つの拠点として活動しているが、今回はたまたま雨が降って室内で実施した。今回においては、数日前に熊の足跡の目撃情報があつてどうしようかとなった。もちろん熊自体の目撃情報であれば中止にしていた。今後は児童クラブを行っていく場所である。十分安全対策を考えたいうえで実施していきたい。

伴委員 : 参加者10組とは素晴らしい。

遠藤教育長 : 子育て世代が増えてきた証拠である。

佐藤職務代理：フォーラムビレッジにはシカ柵はないのか。

遠藤教育長：シカ柵があるのは宇隆側である。教育委員会として事業を実施している場所なので皆さんで一度確認したいと思う。安全面に関しては何らかの形で考えていかななくてはならない。

金光委員：森ガールは年間何回ぐらいの開催を考えているのか。

伊藤課長：年間4回程度である。

金光委員：この事業の目的やねらいはどういったところか。

伊藤課長：自然で親子とふれあってほしい。なるべくメディアから離れてほしいというねらいである。

伴委員：自然の中で親子が向き合うことは非常にいいことである。

8 議案

議案第1号 厚真町いじめ防止基本方針の一部改正について

(資料10)

【質疑】

金光委員：今後、いじめ防止に向けて教育委員会では具体的にどう考えていくのか。

遠藤教育長：児童会・生徒会でいじめをテーマにした発表会などの場がいじめということについて共有し合う。子どもたちといろいろ感じながらやっていく。

伴委員：例えば子ども議会などでいじめの話題を取り上げられてもいいのではないかと思う。

遠藤教育長：子どもたちの人間関係をどう良好にしていくか。友達を思いやる心をどう植え付けていくのか。そういったことを考えて行くことが大切である。

遠藤教育長：議案第1号 厚真町いじめ防止基本方針の一部改正について原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

議案第2号 文化財の指定について

(資料11)

【質疑】

伴委員：平成19年の発見時は舟は埋まっていたのか。どうしてこういう状況で発見されたのか。

伊藤課長：おそらく洪水などで上流から流されてきたのではないかと。

金光委員：カヌーに乗っていて発見した。少し前に学芸員からこういう舟があるとは聞いていたので戻ってから学芸員にすぐ連絡した。

遠藤教育長：これを考えると当時の川の状況がわかる。図面上で発見場所はおさえているのか。

伊藤課長：学芸員の方できちんとおさえている

遠藤教育長：議案第2号 文化財の指定について原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全委員：異議なし。

9 その他

(1) 北海道市町村教育委員研修会の開催について

(資料12)

と き 7月12日(木) 午前10時20分

ところ 札幌市教育文化会館

10 次回委員会の開催日程

・6月28日(木) 午後2時30分(予定)

11 閉会

厚真町教育委員会会議規則第18条の規程により署名する

平成 年 月 日

教育長

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

署名委員

平成 年 月 日

生涯学習課長（調製）